

12.4<sup>Sat</sup>—12.12<sup>Sun</sup> 2021 9:00—17:00

休館日  
月曜日

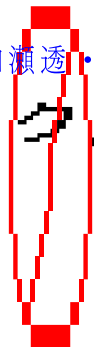


Illuminating Graphics 0

同時開催：JAGDA 新人賞展 2021 加瀬透・川尻竜一・窪田新

光るグラフィック展

入口での体温測定，手指消毒，マスクの着用，  
ご来場様同士の社会的距離 2m の確保にご協力をお願いいたします。  
37.5℃以上の発熱，咳・咽頭痛，**第23回亀倉雄策賞受賞記念**  
全身倦怠感などの症状がある方は来場をお控え**田中良治**  
来場多数の場合は入場制限を行うことがあります。



入場無料

# 同時開催：JAGDA 新人賞展 2021 加瀬透・川尻竜一・窪田新

加瀬透 Toru Kase

1987年生まれ。埼玉県出身。2010年立教大学経営学部国際経営学科卒業。11年桑沢デザイン研究所専攻デザイン科卒業。15年よりフリーランス。グラフィックデザインやウェブデザイン、グラフィックワークの制作・提供・展示を中心に活動中。



第23回亀倉雄策賞受賞記念 田中良治「光るグラフィック展0」

2021年12月4日㊥-12月12日㊦ 9:00-17:00 月曜休館 入場無料

新潟県立近代美術館 2F ギャラリー

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3-278-14 TEL 0258-28-4111 <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

1978年に発足した公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（略称 JAGDA）は、現在、会員数約 3,000 名を誇るアジア最大規模のデザイン団体として、年鑑『Graphic Design in Japan』の発行や展覧会・セミナーの開催、デザイン教育、公共デザインや地域振興への取り組み、国際交流など、デザインによるコミュニケーション環境の向上のために様々な活動をおこなっています。

重要な活動の一つとして、JAGDA 初代会長・亀倉雄策（新潟県燕市出身）の生前の業績をたえ、1999年、遺族の寄付により創設された「亀倉雄策賞」の運営と選考があります。この賞は、グラフィックデザインのさらなる発展をめざし、毎年『Graphic Design in Japan』出品作品の中から、最も優れた作品とその受賞者に贈られます。23回目となる今回は、田中良治氏のインタラクティブデザイン「Tokyo TDC ウェブサイト」が選出されました。簡潔に情報が整理されているだけでなく、読み手を意識した間や効率性に類らない情報の届け方を、多角的に思考するオリジナリティが端々に感じられます。「スクリーンセーバーの仕掛けが目立つが、むしろウェブを成立させるディテールの繊細な作り込みに彼の本質がある」「ウェブサイトは情報のデザインであり、作る人のセンスが特に問われる。ビジュアルな魅力だけではなく奥深さがある」と選考会で高く評価されました。

一方、毎年『Graphic Design in Japan』出品者の中から、39歳以下の新鮮かつ作品の質の高いデザイナーに「JAGDA 新人賞」を贈っています。この賞は1983年来、いまや第一線で活躍する116名のデザイナーを輩出し、デザイン・広告関係者の注目を集めています。39回目となる今回は、新人賞対象者139名の中から厳正な選考の結果、加瀬透・川尻竜一・窪田新の3名が選出されました。受賞作品および近作を集めた展覧会を、今年も東京に続いて、ここ新潟にて開催いたします。世界に誇る日本のグラフィックデザインの現在をぜひご覧ください。

田中良治 Ryoji Tanaka

1975年三重県生まれ。同志社大学工学部および岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー卒業。2003年セミトランスペアレント・デザイン設立。ウェブサイトの企画・制作から国内外の美術館・ギャラリーでの作品展示までウェブを核とした領域にとらわれない活動を行っている。主な活動に、「オープンスペース」2008, 2015/NTTインターコミュニケーションセンター [ICC], 「tFont/fTime」/山口情報芸術センター [YCAM], セミトランスペアレント・デザイン「退屈」/ギンザ・グラフィック・ギャラリー、「光るグラフィック展」1, 2/クリエイションギャラリーG8の企画・キュレーションなど。'15年 JAGDA 新人賞, '17年, '20年, '21年 JAGDA 賞受賞。

[www.semitransparentdesign.com](http://www.semitransparentdesign.com)

開催記念講演会

2021年12月4日㊥

13:30-14:30

第1部 JAGDA 新人賞受賞者講演会（オンライン登壇）

14:45-15:45

第2部 亀倉雄策賞受賞者講演会

会場：新潟県立近代美術館 講堂

（定員80名/参加費無料/要事前申込/各講演30分前より開場）

申込方法：電話（0258-28-4111/受付時間 9:00-16:00）またはメール（[ngt503040@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt503040@pref.niigata.lg.jp)）にて、イベント名、お名前、電話番号とともにお申し込みください。

申込締切：12月3日㊦ 16:00

※ただし、定員に余裕のある場合は、当日の受付を行うことがあります。

詳しくは当日、美術館までお問い合わせください。

お問合せ：新潟県立近代美術館

〒940-2083 新潟県長岡市千秋3-278-14

TEL 0258-28-4111 <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

交通案内

新幹線・在来線：JR 長岡駅下車

路線バス/長岡駅大手口8番線：中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車（乗車約15分）すぐ、または長岡駅大手口2番線：センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車（乗車約15分）から徒歩5分タクシー/約15分

関越自動車道：長岡 I.C から約10分

北陸自動車道：長岡北 S.I.C から約10分 ※無料駐車場あり（165台）



窪田新 Arata Kubota

1981年山梨県生まれ。2006年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。同年、電通入社。ニューヨーク A.D.C 金賞、D&AD イエローペンシル、Cannes Lions 金賞。



川尻竜一 Ryuchii Kawajiri

1982年北海道留萌生まれ。札幌在住。2006年北海道造形デザイン専門学校グラフィックデザイン学科卒業。10年デザイン入社。11年札幌 A.D.C 新人賞、19年札幌 A.D.C グラフィック受賞。

